

## 「入来小学校の入来神舞伝承活動への取組」

### 1 学校名

薩摩川内市立入来小学校

### 2 学年・人数

5年生（1人） 6年生（2人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和2年11月（3回程度） 大宮神社（集会場）

#### (2) 発表の日時・場所

令和2年11月23日（月） 大宮神社にて入来神舞の奉納

令和3年1月1日（金） 大宮神社にて入来神舞の奉納

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

#### (1) 名称

大宮神社の入来神舞奉納

#### (2) 由来

大宮神社は、約750年前、入来の地頭だった渋谷氏の家老種田氏が、近江国坂本（今の大津市）の日吉大社から迎えられたのを機に建てられた。入来にある五つの神社の筆頭として、領民が敬っていた。初めは、久木塚の川沿いにあったが、約500年前に現在の場所に移った。現在の建物は、約100年前に建てられ、大国主の命が祭られている。

大宮神社は、毎年11月23日と大みそかに、入来独特の神楽と神舞を奉納している。入来神舞は、古くから入来に伝わる隼人神楽や渋谷氏が伝えた上世雅楽、出雲流雅楽が混ざった演劇的神舞といわれている。

#### (3) 構成等

入来神舞は、36の演目があり、大きく、災いをなくす巫女舞・稲作に関する舞・天の岩戸の神楽の3つに分けられる。今は、猿女舞・三隅舞・四方鬼神舞・十二人剣舞・杵舞・田之神舞が奉納されている。

#### <猿女舞と三隅舞>

猿女舞は、鈴と扇を持った2人の巫女が舞う。次の三隅舞は、扇を持った4人の巫女が舞う。

#### <四方鬼神舞>

四方鬼神舞は、初めに青の衣装を着て、弓と矢を持った鬼神「青竜」が登場する。春を表し、木の象徴といわれている。次に赤の衣装を着て、なぎなたを持った鬼神「朱雀」が登場する。夏を表し、火の象徴といわれている。そして白の衣装を着て、なぎなたを持った鬼神「白虎」が登場する。秋を表し、金の象徴といわれている。また、黒の衣装を着て、くまでと斧を持った鬼神「玄武」が登場する。冬を表し、水の象徴といわれている。最後に、中央鬼神が、扇とぶちを持って登場する。

#### <十二人剣舞>

十二人剣舞は、奈良時代に、隼人族が皇宮12門の守りにあたったことから、中央鬼神が、その12人に天照大神の由来を説く神楽舞である。この中で国歌「君が代」が歌

われている。このことから、大宮神社は、「君が代」発祥の地といわれている。

#### <杵舞>

杵舞は、稲作の豊穰を祈願する舞です。杵を持った2人が、田起こしや杵つきなど稲作の様子を舞う。途中からユーモラスなお面を被った田之神が登場し、でんぐり返しなどを舞う。

#### <田之神舞>

田之神舞は、田之神が、みんなが知らない間に、昼も夜も毎日、田んぼの見回りをしている様子を舞う。おもどしやすりこぎを使って、ユーモアたっぷりに舞う。

### 5 保存会や地域との連携の具体

大宮神社の入来神舞は、地域の小・中学生、高校生、一般の方々約18名の有志で伝承されてきている。親から子へ、孫へと受け継がれてきたが、最近では伝承する若い人たちが減少している。毎年2回行われる大宮神社の入来神舞奉納は、地域の方々の自慢でもあり、地区内外から多くの見学者が訪れる。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

入来小学校では、ジュニア歴史ガイドも参加して、見学者の皆さんに入来神舞の紹介などを行っている。

### 7 取組の様子



入来神舞(三隅舞)を舞う小・中学生



「かごしま民俗芸能活動奨励賞」受賞

### 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

#### 【小学生児童】

練習や寒い中での演舞は大変だけど、地域の方々に喜んでもらえたりほめてもらえたりするのは嬉しい。

テレビや新聞に取り上げられたり、賞をもらえたりして嬉しい。

#### 【保護者から】

子どもたちが、地域の伝統行事に携わることは大変貴重な体験になり、自分たちの生まれた地域を愛するきっかけとなる。

#### 【保存会から】

入来神舞の伝承者が少なくなり大変困っている。小学生や中学生、高校生に呼びかけて、伝承者の確保に努めていきたい。